那珂川町馬頭広重美術館友の会ニュース〈第11号〉

# 風の色

## 重要美術品「舞踊図」

六面のうち 江戸時代初期（十七世紀前期）サントリー美術館所蔵

金地の画面に、扇を手に舞を舞う女性達が一人ずつ描かれています。琴柱・龍・孔雀などの意匠モティーフから鹿の子絞りに至るまで丁寧に描写された艶やかな衣装が、私達の目を喜ばせてくれます。

本作品は、現在は一枚ずつ額装されていますが、もとは屏風だったようですから、女性達は横一列に並んでいたことになります。では、目の前にこの屏風が置かれた情景を想像してみてください。果たして女性達はどこにいるのでしょうか？　絵に見るごとく列になって舞っているにしてはポーズがそれぞれ異なっており、むしろ舞の最も美しい所作を集大成したかのように見えてはこないでしょうか。――現実感をぬぐい去る金色の背景が絵の中の空間を曖昧にし、私達に自由な鑑賞を許してくれています。

日本絵画の主要ジャンルに人物画があります。近世以前、そこに描かれるのは、道教や仏教に由来する神仏や、故事や伝説の登場人物、有名な武将や貴族らの肖像などでした。しかし、中世末期から近世初期（十六世紀末～十七世紀）にかけて、現世を謳歌する名もない庶民の姿を描いた「風俗画」が好まれるようになります。

本作品も風俗画の一例です。同時代の他の風俗画には、花見や座敷での宴会の場面に舞を舞う女性の姿が多く描かれていることに気づきます。当時の鑑賞者は本作品からも、そのような場面を思い起こしたかもしれません。

風俗画の流行は、のちに浮世絵を生み出す土壌をも作り上げました。四月二十七日～六月四日開催の「江戸の庶民ＰＯＷＥＲ！――サントリー美術館所蔵 風俗画と浮世絵――」では、江戸時代の生き生きとした庶民の姿を絵の中に見付けることができることでしょう。

（那珂川町馬頭広重美術館　学芸員　折井貴恵）

# 文化の灯を点す運動を

友の会会長　池田堅昭

馬頭広重美術館は、開館五周年を経過いたしました。その間、友の会員並びにボランティアの皆様のご奉仕により多くの、来館者を迎え、鑑賞し満足していただく美術館を目指して歩んでまいりました。

馬頭広重美術館は日本を代表する建築家隈研吾氏の設計による大屋根と格子の外観のすばらしさ等で、国内外の建築賞を八回受賞しております。また、青木藤作のコレクションを中心とする浮世絵・版画を中心に、年間十回の展覧会の開催は、他の美術館が追従できない運営で、これも学芸員三氏と職員各位の努力のたまものであります。心から感謝いたしております。

さらに、美術館で開催される「学生版画コンクール」も年々すばらしい作品が出品されております。これも広重美術館の存在が青少年の心に文化の明かりを点す働きをしているあかしであると思います。

今後は、一人でも多くの友の会会員の増加を図り、友の会の活動を振興することと、馬頭広重美術館の発展、人びとの心に文化の灯を点す運動をすることが友の会の使命と考えますので、よろしくご助勢をお願い申し上げます。

## 開館五周年を祝う

開館五周年祝賀パーティーが平成十七年十一月三十日、ますや支店（那珂川町馬頭）を会場に開かれました。川崎和郎町長を始め、議会、教育関係者、友の会会員など約八十人が参加し、それぞれの美術館への想いなどを話題に、懇親を深めました。

## 那珂川町馬頭広重美術館友の会に

友の会臨時総会を平成十七年十一月三十日に開催し、友の会の名称を「那珂川町馬頭広重美術館友の会」とするなど会則を一部改正し、平澤照雄、福島正、白相淑久、藤田真一の四氏を役員に選出しました。

会則の改正は、主として町村合併による館名の変更に伴うもので、友の会の事務所も「那珂川町馬頭一一六番地九」になります。また、友の会の事業も、「美術館が行う事業への協力、援助」とより具体的になりました。役員の選出は、定期総会で町村合併後、補充選出すると決議されたことによるものです。

# 町長賞に「おはやし」

## 第１回 那珂川町学生版画コンクール

「第一回那珂川町学生版画コンクール」は、町内幼稚園、小・中学校の児童生徒から八百六十一点の応募があり、入賞作品百二十九点が、二月十七日から三月十二日まで視聴覚研修室ギャラリーに展示されました。

合併後、初めて開催されたコンクールで、前年の倍に近い応募作品数の中から、町長賞に馬頭小学校五年菊池崇敏さんの「おはやし」が選ばれました。審査委員長を務められた高野章江先生は、「年々レベルが上がっている。作者の考えが素直に表現され、創造性に富んだ、個性豊かな素晴らしい作品がそろった。これからも、いろいろな体験をして、それらを活かしながら楽しい版画づくりに励んでもらいたい。」と感想を述べています。

町長賞受賞作「おはやし」

# 浮世絵を楽しむ

毎週の展示室監視ボランティアを務めながら、観客不在の合間にじっくりと浮世絵を鑑賞する幸せを味わっています。数々の浮世絵と出会っているといろいろな見方があるように思われます。

それは、

絵の美しさに惹かれる（第一印象）

時代の回顧が楽しめる

職人技の凄さに感嘆する

などである。

## 絵の美しさに惹かれる

何回も見詰めているうちに、描かれている内容が分かってきたり、素通りでは見えないものが見えてきたりするからでしょう。

美しい風景画に出会ったとき、心の安らぎを得たり、親しみや憧れを覚えて、自分の部屋にも飾りたいなあと思うでしょう。美人画や役者絵にも心を奪われるものがあります。江戸時代の美女たちは、絵師の腕の見せ所でもあったのでしょう。武者絵や戯画なども色彩豊かで逞しいほどの想像力を感じます。

小林清親「東京名所図 隅田川夜」（サントリー美術館所蔵）

## 時代の回顧を楽しむ

浮世絵からはその時代背景をつぶさに感じることができます。旅姿や宿場の風景、名物や名所、祭や行事。美人画からは衣装や髪型などのファッションが窺える。現代のような報道機関のなかった時代に浮世絵はメディアとして雑誌やテレビの役割を果たしてきました。過ぎ去ったことは美しく感じるもののように、浮世絵は回顧趣味を満足させてくれます。

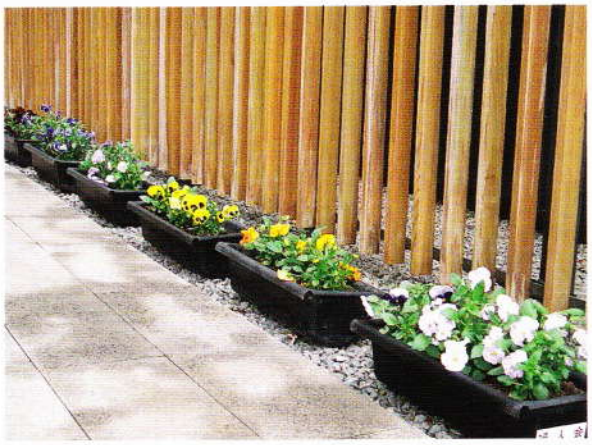
## 繊細な職人技

「西洋の印象派の画家たちは、浮世絵の美しさとともに日本人の繊細さに感嘆した」と何かで読んだことがあります。あの極細の毛髪や鼻筋、頬の線を彫り残す彫師の腕の凄さに驚き、堅い山桜の版木だからできたとしても、刻む刀の切れ味も凄かったのでしょう。当時の人は、視力がよく、根気強かったのかなと思ってしまいます。

また、ずれないように何回も摺り重ねていく摺師の心配り、微妙な色彩表現、重ね摺りによる濃淡の演出、板摺（無線摺）や正面摺・空摺など、技術は次第に磨かれていきました。美人の白い半襟には、紗綾形（さやがた）の凹凸が見られることが多い。拡大鏡を持参されると見極めることができます。

さらに、版元印、絵師名（名を変えることがある）、彫工名、改印（これで制作年代を判定する）などを確認するのもおもしろいものです。

美術館ボランティア部長　磯　敏雄



美術館を花で飾る

## ボランティアいろいろ

多くの皆さんのボランティアに支えられて美術館は、開館以来三十四万人を超える入館者を迎えています。

町婦人会（谷口定子会長）は、春と秋の二回、美術館通路（通称広重街道）をパンジーやマリーゴールドなどのフラワーポットで飾っています。

また、町文化協会華道部の皆さんを中心に、月替わりでエントランスホールに活花が生けられています。これらは、美術館を訪れた皆さんを温かく迎え、季節感と安らぎを与えています。

### 手づくり門松や環境美化

毎年夏、馬頭高校の皆さんやシルバー人材センターの皆さんは、美術館周辺の清掃作業や寒竹の剪定などの環境美化活動を続けています。

健武の磯岩夫さんは、年末になると門松を広重街道入り口に届けてくれています。

美術館建設の時から、こうした多くの町内外の皆さんの善意が寄せられて美術館の運営も成り立っていることに感謝しています。

これから自分の力を地域に役立てたい、余暇を有意義に過ごしたいと考えている方、美術館ボランティアを始めてみませんか。

# 平成18年度展覧会

## 那珂川町合併記念特別展
## 江戸の庶民POWER! －サントリー美術館所蔵 風俗画と浮世絵－

**前期：4月27日(木)～5月14日(日)**
**後期：5月18日(木)～6月4日(日)**
ミュージアムトーク＝4月29日、5月13日・27日(全て土曜日)

企業美術館の先駆けであるサントリー美術館が、2007年春にリニューアルオープン。新美術館は、当館を設計した隈研吾氏が手がけています。本展覧会は、サントリー美術館所蔵の風俗画の名品をひと足先に隈氏の建築空間に展示する試みです。

■特別展観覧料＝大人 800円(720円)／高・大学生 500円(450円)／小・中学生 150円(135円)
（ ）内は20名以上の団体料金
※70歳以上、小学生未満は無料　※障害者手帳をお持ちの方、付き添いの方1名は半額

## 企画展　大正ロマン・竹久夢二展

**6月8日(木)～7月17日(月・祝)**
ミュージアムトーク＝6月10日、7月1日(全て土曜日)

明治後期から昭和初期に活躍した大衆芸術家、竹久夢二。特に哀愁の漂う表情で描かれた女性像は「夢二式美人」と呼ばれ、今日でも多くのファンを魅了しています。画家・作詞家・詩人などさまざまな分野で足跡を残した夢二の作品をご紹介します。

## 企画展　東海道五十三次くらべ －広重VS国貞－

**前期：7月21日(金)～8月20日(日)**
**後期：8月24日(木)～9月24日(日)**
ミュージアムトーク＝7月22日、8月5日・26日
9月9日(全て土曜日)

美人の背後に広がるのは、何やらどこかで見覚えのある風景…。歌川広重の代表作「東海道五拾三次之内」(保永堂版東海道)と、その図柄を引用した歌川国貞の「東海道五十三次之内」を前後期に分けて同時展示いたします。

歌川国貞「東海道五十三次之内 蒲原図」
(金馬車コレクション)

## 開館6周年記念特別展　広重を生んだ画派 歌川派の時代展

**前期：9月29日(金)～10月29日(日)**
**後期：11月2日(木)～12月3日(日)**
ミュージアムトーク＝9月30日、10月14日、11月3日・18日
(11月3日のみ金曜日、他は全て土曜日)

■特別展観覧料＝大人 800円(720円)／高・大学生 500円(450円)／小・中学生 150円(135円)
（ ）内は20名以上の団体料金
※70歳以上、小学生未満は無料　※障害者手帳をお持ちの方、付き添いの方1名は半額

## 企画展　生誕100年記念 "自由"を生きた画家 深沢史朗展

**前期：12月8日(金)～1月8日(月・祝)**
**後期：1月12日(金)～2月4日(日)**
ミュージアムトーク＝12月9日・23日、1月13日・27日(全て土曜日)

## 企画展　明治の名所絵師 小林清親展

**2月8日(木)～3月11日(日)**
ミュージアムトーク＝2月10日・24日(全て土曜日)

## 企画展　青木コレクション名品展

**3月15日(木)～4月15日(日)**
ミュージアムトーク＝3月17日・31日(全て土曜日)

## 美術館予定カレンダー (カレンダーと展示案内の帯の色が同じになっています)

2006年 **4**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 30 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |

**5**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 | | | |

**6**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |

**7**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 30 | 24 31 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |

**8**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

**9**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

**10**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

**11**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

**12**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 31 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

2007年 **1**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 | | | |

**2**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | | | |

**3**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

休館日
開館日
●ミュージアムトーク(展示解説)

●催しはいずれも午後1時30分より。ミュージアムトークは観覧料が必要。

■企画展観覧料＝大人 500円(450円) 高・大学生 300円(270円) 小・中学生 100円(90円) （ ）内は、20名以上の団体料金
※70歳以上、小学生未満は無料　※障害者手帳をお持ちの方・付き添い1名は半額
■開館時間＝午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
■休館日＝月曜日　祝日の翌日(祝日の翌日が土、日曜日は開館)　年末年始　※展示替えのための臨時休館があります

那珂川町馬頭広重美術館友の会ニュース　第11号
平成18年3月31日発行●編集発行／馬頭広重美術館友の会
〒324-0613 栃木県那須郡那珂川町馬頭116-9
TEL0287-92-1199 FAX0287-92-7177
http://www.hiroshige.bato.tochigi.jp/